

中条小学校区放課後子ども教室

活動 テーマ	子どもが生き生き活動する広場を作る。
-----------	--------------------

■基本データ

活動日	水・土	本体事業 開催回数	54 回	まなび舎kids事業 開催日数	- 日
児童数	950 人	登録人数	814 人		
コーディネーター数	1 人	ボランティア数	16 人		
実施場所	運動場・物語ルーム・学習ルーム・理科室・図工室・第2音楽室等				
活動内容	【水曜日】 宿題・読書・自由遊び（サッカー・ドッジボール・大縄跳び・一輪車・キックベースボール・ボール投げなど） 【土曜日】 スポーツ：サッカー・キックベースボール・ソフトボール・グラウンドゴルフ・卓球・ドッチビー・ダーツなど 工作：うちわ・勾玉・風車・スライムボール・栞・水鉄砲・七夕飾り・コースターづくりなど 文化・教養・科学：折り紙・電磁石・ペーパークラフトづくり・囲碁・将棋・書き方・英語・リトミック・プラネタリウム鑑賞・顕微鏡観察など				

■活動の概要・経緯

水曜日と土曜日に教室を開いている。水曜日は運動場と学習ルーム・物語ルーム、土曜日は理科室・図工室・プレイルーム・会議室などを使っている。経緯として、以前から小学校に土曜日解放があり、子どもが自由に小学校に遊びに来ていた。その延長で土曜日が設定され、水曜日は学業の終了時刻がほかの曜日より早いので、この日が設定された。

■活動の特徴・工夫

○特徴として、小学校の校長先生・教頭先生・学童保育の指導員・スポーツ指導員・PTA役員・公民館長・篤志家・青健協会長などが実行委員となり、月末会議を開き、次の月の活動予定を決定する。その内容をわくわくニュースとして児童に配布する。児童はそれを見て参加したり、講座に申し込む。

○工夫として、子どもが自主的、創造的、協調的に参加してくれるように講座の内容を実行委員会で作成する。学生ボランティアを積極的に利用している。

■スタッフの声

子どもが講座に目を輝かせて参加しているのを見るとやりがいがあります。子どもから講座の最中に質問があったり、こちらの間違いを指摘されるのもうれしい。大縄跳びの縄を使って、高い鉄棒にぶらんこを作ると順番待ちができるほどです。これは子どもの発案ですが、子どもは大人が考えられないことを考えると教えられました。

■活動の様子



運動場で遊ぶ



講座「勾玉づくり」